

科目名	基礎演習(4) (学科/商)		
担当教員	池上 恭子 (イケガミ キョウコ)	単位数	4単位
開講期間	春学期/秋学期	授業形態	演習
使用言語	日本語	開講学年	1年次のみ
開講学科・カリキュラムコード※	商SS1		
資格科目			
授業概要	<p>春学期には、大学において学ぶための様々スキルを身につけます。具体的には、文章の書き方、レポートの書き方、本の読み方、資料の探し方、報告や議論の仕方などです。</p> <p>秋学期には、これらのスキルを活用して、グループで企業や地域の課題を見つけ、情報を収集し、その原因を分析したり、解決策を検討したりします。このような活動を通じて、学びのスキルを定着させることに加え、商学部の学びにつながる関心や興味を高めます。また、グループワークを通して、他者とコミュニケーション力を高め、協働して目標を達成することを目指します。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学において必要な学ぶスキルを修得し、大学4年間で様々な課題に取り組むことができるようになる。</li> <li>・報告や議論を通して、他者の意見を聴き理解する力、自分の意見を他者に的確に伝える力を修得する。</li> <li>・グループでの報告や議論を通して、他者とのコミュニケーションを高め、他者と協調・協働する力を修得する。</li> </ul>		

カリキュラム学科 2025年度 春学期 学部 商学部 商

商学科DP		関与度
1	企業をはじめとする組織の諸活動について、その活動の運営・管理や維持・発展について考察するために必要となる知識や理論を習得している。	
2	企業をはじめとする組織の諸活動について、その社会的貢献や責任、歴史や環境等と関連づけて理解したり、文化的多様性の存在を理解したりする能力を身につけている。	
3	柔軟な適応力や総合的な判断力、確かな実践力を身につけ、高いコミュニケーション能力を有して他者と協働することができる。	◎
4	企業をはじめとする組織の諸活動について、問題を発見し、その解決に必要な多様な情報を収集・分析することができる。さらに、一定の根拠に基づき、複眼的・論理的に思考することによって、説得力のある分析や解決策を提案できる。	○
5	知的好奇心、協調性やリーダーシップ、自己管理能力などを兼ね備え、生涯を通じて自律的に学び続けることができる。	△

授業内容	
第1回	オリエンテーション・履修指導
第2回	仲間づくり・キャンパスツアー
第3回	学生生活のデザイン
第4回	授業の受け方・ノートの取り方
第5回	文章の書き方(1)基本事項の確認
第6回	文章の書き方(2)学術的文章の表現
第7回	情報の収集(1)図書館の利用
第8回	情報の収集(2)データベースの利用
第9回	レポートの書き方(1)レポートの種類・基本的な型
第10回	レポートの書き方(2)作成要領
第11回	レポートの書き方(3)事例研究

第12回	レポートの書き方（４）読解力・要約力の修得
第13回	Word 演習
第14回	図・表の使い方、Excel演習
第15回	春学期のまとめ
第16回	オリエンテーション
第17回	課題研究の説明・テーマの見つけ方
第18回	テーマ設定のための情報収集
第19回	テーマ設定のためのグループディスカッション・研究方法の検討
第20回	文献調査・資料収集
第21回	資料整理
第22回	課題研究のまとめ（グループディスカッション）
第23回	課題研究のまとめ（アウトラインの作成）
第24回	中間報告会
第25回	Power Point演習
第26回	プレゼンテーション資料の作成（１）スライドの作成
第27回	プレゼンテーション資料の作成（２）修正・調整
第28回	プレゼンテーションの方法・リハーサル
第29回	プレゼンテーション
第30回	1年間のまとめ
事前事後学修(具体的な内容及び必要な時間)	春学期：事前学習としては、テキストや配布資料を熟読してください。事後学習としては課題にしっかり取り組んでください。 秋学期：課題研究のため、資料収集、レポート作成、プレゼンテーションの準備など授業時間外の活動も求められます。 なお、事前・事後学修にはそれぞれ2時間程度を必要とします。
試験や課題に対するフィードバック方法	課題については、授業中に評価が高いものを紹介します。また、個別にコメントを付して返却します。
アクティブ・ラーニング	PBL（課題解決型学修）／プレゼンテーション／ディスカッション、ディベート／グループワーク
実務経験を生かした具体的な授業内容	
学修支援システムLMS（manaba）の活用	manabaでのレポートの回収／manabaに講義資料・コンテンツの公開
受講上の注意点	・積極的に質問をしたり、意見を述べたりするように心がけてください。 ・グループワークでは、他人任せにせず、自主的に取り組んでください。
教科書	吉原恵子/間瀬泰尚/冨江英俊/小針誠『スタディスキルズ・トレーニングー大学で学ぶための25のスキルー』実教出版、2017年。
参考文献	
成績評価方法	
評価割合	
A.定期試験	0%
B.レポート	20%
C.小テスト	0%
D.発表(プレゼン・スピーチ等)	20%

E.平常点・授業への貢献度		60%
F.その他		0%
成績評価についての補足		
担当教員との連絡方法	大学アカウントのEメール (@kumagakuのアドレス)	
連絡方法 (その他)		
添付ファイル		

※カリキュラムコードは、各学科の群 (分野)、必修か選択、開設学年を示しています。詳細は履修登録ガイドを参照してください。